ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

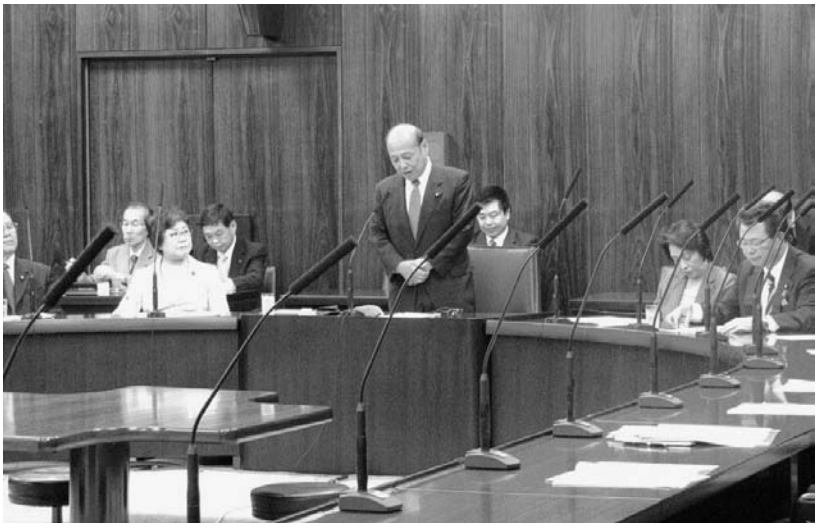
年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可　平成2年1月18日
口　座　01000-4-62360
平成22年 No.229 11月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

政府、朝鮮高校に授業料支援の方向
授業の内容は問わず

国民の理解は得られるか

昨年夏の衆議院選挙で、民主党はマニフェストに高校授業料無償化を掲げ、今年4月から実施されている。公立高校は無料、私立は上限24万まで援助する。最後に残ったのは、全国に11ある朝鮮高校にまでその対象を拡げるのか、大きな政治問題になっていた。政府は無償化の判断を専門家の意見を聞いた上で判断するとして、文部科学省内に6名で構成する専門家会議を設置した。専門家の名前、審議内容は一切明らかにせず、文部科学大臣は11月5日、専門家会議の意見を尊重して、基準を定め、朝鮮高校に授業料を支援する方向を示した。基準とは、生徒数に対する先生の数、授業日数などの外形的なもので、授業の内容は問わないとしている。多くの日本人が今なお拉致され、被害者家族は嘆き悲しんでいる。しかも反日教育が公然と行われている朝鮮高校へなぜ支援しなければならないのか。国民の間から強い怒りと疑問の声が挙がっている。(2面に関連記事)


文教科学委員会で委員長就任挨拶をする二ノ湯議員

恒心

★とことんクリーンな民主党へ。「カネのかからない、清潔な政治の実現に全力で取り組みます。まずは出来る限り早期に、企業団体献金を全面禁止する。」これは今年夏の参議院選挙の民主党マニフェストに掲げられている政権公約である。これを信じて民主党に一票を投じた人は多い。★民主党は昨年夏の衆議院選挙でも同じような政策を約束していたが、いまだに実現出来ず、民主党所属の国会議員の大多数が、企業団体献金によって日常活動をしているのが実態ではないのか。小沢一郎氏は検察審査会が起訴相当処分を出した後でも政治パーティを堂々と開いていた。★企業と団体との不正の温床となりやすい献金を止めて、出来るだけ個人献金によって政治家が活動をすることは理想であり、政治家も個人献金を増やすように努力をしなければならない。しかし、言うは易し、実行することは非常に難しい。★10月26日、民主党の岡田幹事長が今年に入って中断していた企業・団体献金を受け入れることを表明した。枝野幹事長代理は、受け入れ再開は暫定措置としているが、民主党の公約破りには、慣れっこになっている国民も、民主党の最も重要な公約違反にあきれ返り、空いた口が塞(ふさ)がらないのではないか。★日本では個人が政治家だけでなく、福祉や教育などにも寄付をするという風土が育っていない。寄付をもっと促進する税制改革もしなければならないが、選挙では国民に聞こえのいい、もっともらしい政策を並べたて、終われば安易に約束を取り下げる民主党にこの国を任せて本当に大丈夫か、国民もそろそろ分かってきたようである。

参院文教科学委員会
自民、朝鮮高校授業料支援で厳しく批判

10月21日、二ノ湯参議院議員が委員長になって、初めて参議院文教科学委員会が開かれた。現在大きな政治課題となっている高校授業料無償化法の実施に伴う朝鮮高校への支援について各議員から鋭い質問が出された。自民党からは教育再生に政治生命を賭けるヤンキー先生・義家弘介氏が質問に立った。

○義家弘介君　高等学校就学支援金の支給に関する検討会議は朝鮮学校を高校授業料の無料化の対象とするかどうか議論してきた会議だったわけです。検討会議の基準の結論は出たわけですから、議事録は現時点では公開できるのではないかと我々は考えておりますが。

○髙木義明文部科学大臣　検討会議において委員の自由闊達な議論、また専門的な議論、これが確保されるように、外部からの働きかけがない静かな環境で議論をした方がいいということでございまして、会議の検討が取りまとまった後に要旨を公開するということが、これは第一回の会合で決められております。

○義家弘介君　判断基準は出したわけです。その判断基準を出した流れの議事、中身を公開しなければ、本来議論にはならないと私は思います。

○髙木大臣　議事録は読んでおりますが、民主党政調会議の中で、今の時点では決まっていないものと思っておりますので、すべてが終了した後に公開をするということにしております。

○義家弘介君　国権の最高機関である国会で、重要な国費を投入する以上、拉致問題も抱えながら、国民的関心がある事項である以上、国会の場にそれぞれの意見を開示した上で、議論をし、結論を出していく、これが本来の筋であろうと考えておりますが。

○髙木大臣　最終的には、教育の見地から私の立場で決めさせていただきますが、今はまだその時期ではないと考えております。

○義家弘介君　大阪府は、朝鮮学校や児童生徒に対して平成21年度に計2億円の補助金を支給してきましたが、平成22年度は補助金の執行を保留しています。この大阪府の有識者会議の委員は既に公開されています。なぜ文部科学省の検討会議の委員は公開できないのか。

○髙木大臣　この結論は多くの皆様方の関心事でございます。それだけに、私どもとしてもなお慎重に御意見を聴くという今段階にあるからです。

○義家弘介君　国会の議論の中で、しっかりとそのプロセスも明らかにした上で、この問題に対しては議論して判断していくというふうに受け止めてよろしいのでしょうか。

○髙木大臣　この国会の議論も踏まえて、私の責任において判断を決めたい。

○義家弘介君　我が国の社会や国際社会の担い手として活躍できる人材の育成に努める等の4つの留意事項が出ていますけれども個々の具体的な教育内容については基準としない、専門的議論をして教育の中身は問わない。一体どんな専門家なのかと、信じられないわけです。本来教育にとって最も重要なのは中身です。教育における最も重要な点を判断基準から除外する、これ教育行政の矛盾だと大臣お考えになりませんか。

○髙木大臣　検討会議の報告につきましては、教育課程及び教育水準などの教育内容については、中学校卒業程度を基礎として、高等学校の教育に類する教育を施すにふさわしい授業科目の開設を求めることが適当との指摘がなされております。

○義家弘介君　どんな教育をしていても支援金を出すという理解でいいんですか。

○髙木大臣　そのことも含めて私として慎重に判断させていただくと。

○義家弘介君　公安調査庁に改めて聞きたいですが、朝鮮総連の役割は何なのか、朝鮮人学校とどんな影響、つながりがあるかについて、公安調査庁、是非もう一度、この内外の情勢の回顧と展望も含めて答弁願いたいと思います。

○寺脇一峰公安調査庁次長　朝鮮総連の我が国における役割でございますけれども、総連は、同胞の権益擁護と北朝鮮の富強発展に貢献することを目的とし、北朝鮮に対する支援活動や我が国に対する働きかけ及び在日朝鮮人の権利擁護など、様々な活動を行っているものと承知しております。また、朝鮮人学校との関係でございますが、朝鮮総連は、朝鮮人学校の管理運営につきまして、朝鮮総連の指導の下に進められていると説明しているなど、総連の影響は朝鮮人学校の教育内容、人事、財政に及んでいるものと承知しております。

○義家弘介君　政府の機関である公安調査庁の見解が元々政府の朝鮮学校に対する公式見解であったはずだと考えますが、髙木文部科学大臣、いかがでしょうか。

○髙木大臣　就学支援金は生徒個人に支給するものであり、北朝鮮政府の対応と生徒の支援は別の観点から考えるべきと思っております。就学支援金に関して指定された学校は、法律の規定に従って就学支援金を確実に生徒の授業料に充てるとともに、経理の透明化を求めるのは当然なことでございます。

義家弘介議員

反日、反米に満ちた朝鮮高校歴史教科書

この教科内容で授業料支援とは

朝鮮高校が人事、財政、教育内容にまで北朝鮮政府の支配下にある朝鮮総連に強い影響を受けていることは、公安調査庁も認めている。例えば、高校の現代朝鮮歴史の教科書。中身は反日、反韓国、反米に満ちており、朝鮮戦争は「米帝のそそのかしのもと、1950年6月23日から38度線の共和国地域に集中的な砲射撃を加え、6月25日には全面戦争へと拡大した」と記述。問題の高校については「学生を愛国事業の働き手に育てるために教育内容を改善して、祖国の教科書と教員用の参考書にもとづいて、教科書も自分たちの力で作った。民族教育発展の要求に応じるために準備された民族幹部や教育関係者を体系的に育てるために、朝鮮大学校創立事業を推進することを決定した。」と総連の役割を強調している。1987年11月、韓国の大韓航空機が金賢姫によって爆破された事件については「南朝鮮当局はこの事件を北朝鮮工作員金賢姫が引き起こしたとでっち上げ、大々的な反共和国騒動をくり広げ、その女を第13代大統領選挙の前日に南朝鮮に移送することによって慮泰愚当選に有利な環境を整えた。」朝鮮高校は日本国内にあるが、まるで北朝鮮国内で使用されるような教科書の内容である。

自民党本部、第4選挙区支部解散

京都府連、新しい支部長選任へ

京都府には6つの衆議院小選挙区がある。昨年夏の総選挙で、自民党は1、5区の2議席しか獲得できなかった。衆議院はいつ解散があるかも知れない常在戦場であり、一日も早く支部長(衆議院候補者)を決めなければならない。有権者の関心は高く、いつも話題になる4区については11月1日付けをもって、党本部が「政治資金規正法」、「政党助成法」及び「党則第87条」の規定に基づき解散を決定し、19日に京都府選挙管理委員会に政治団体支部解散届を提出する予定であったが、前4区支部長の中川泰宏氏が18日に解散手続きをした。京都府連では「選挙区支部規約準則」と「選挙区支部長選任基本方針」に基づき、公募を実施することに決定している。今後、4区内の京都府会議員、京都市会議員が中心となって、有識者をまじえた選考委員会を設置して、当選可能な人を支部長に選任することになる。多くの自民党支持者が心配していた4区の問題も党本部が直接乗り出すことによって、整理することができた。公募によって、広く民意を糾合できる支部長を選び、政権奪還に向けた強固な組織を4区内に再構築することが重要である。

地方議員年金廃止の方向

来年度初めに、市議会共済基金が枯渇

都道府県会、市議会、町村議会の議員は3期12年在職すれば、議員年金の受給資格が与えられる。このことが、一般国民から地方議会年金は特権的だと強く批判されてきた。しかしここ10年間ほど続いた町村合併によって、町村数が非常に減った上に、定数削減によって、年金の担い手である町村議会議員が少なくなり、町村議会年金は4年前に基金が無くなった。そのために市議会議員共済会が町村議会議員年金の財政援助をしているのが現状である。市議会議員年金も合併によって市の数が増え、年金受給者も増えたために、財政状況が極端に悪化し、今のままでは来年度早々にも年金制度は破綻する見通しである。平成14、18年に2回に亘って改正したが、これ以上掛け金、公費負担を求めることも出来ない。現在都道府県会議員で年間96万円、政令都市議員は年間154万の掛け金を支払っている。国民の理解も得られず、掛け金も高い年金は子育て真っ最中の若い議員から廃止して欲しいという声が強く挙がっている。自民党も政府与党も年金制度を維持するのは難しいと判断、おそらく廃止されるのではないか。

自民党ふるさと対話集会

京丹波と大山崎で開催

大山崎町の正覚寺にて

自民党は野党になってから、国会議員が手分けして、全国各地を訪問し、20～30人ぐらいの小グループと対話し、国民の生の声を聞く運動を繰り拡げている。11月13日、京丹波、大山崎の2つの町で「ふるさと対話集会」が開かれた。2会場とも党本部から野田毅衆議院議員(九州比例区・党税制調査会長・元自治大臣)、京都府連を代表して二ノ湯智参議院議員(府連会長)が出席した。

◎**「京丹波町で出された声」**⇩国道9号線の整備促進・鳥インフルエンザの鶏舎解体の補助金・京都縦貫自動車道の無料化による渋滞・衆議院選敗北後の自民党の分裂・迷走への批判、鳥獣被害対策・郵政民営化後の集配業務の遅れ

◎**「大山崎町で出された声」**⇩自民党の地方組織の手直しをどうするのか・民主党のマニフェストへの対抗手段が伝わらない・若い人が政治に関心を持つような対策が必要・日本の領土を幼少期から教育することの重要性

相次ぐ国会見学

右京区の二ノ湯さとし後援会一行46人が11月7、8日に東京見学のために上京した。朝7時に出発、午後3時には最初の目的地葛飾区の柴又帝釈天に到着。その後、建設中の東京スカイツリーを車窓から眺め、その日はホテルニューオオタニでバイキングを楽しみ宿泊。翌日は靖国神社に参拝、参議院会館を訪れ、文教科学委員長室で二ノ湯委員長と懇談、国会見学して、院内で昼食、その後二ノ湯議員、西田昌司参議院議員と国会議事堂前庭で記念撮影して、一路京都に帰った。11月13～15日には自民党与謝野町加悦分会の19名が車中1泊の強行日程で上京。2日目の夜は、谷垣総裁、二ノ湯議員を囲んで懇親会、3日目は国会見学、党本部を訪問した。京都市内、丹後からは東京は遠い。多額の費用を掛けて、訪問して貰うのは有り難いことである。

国会議事堂前（右京区）にて

党総裁室（加悦分会）にて

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「日本真生塾」 第３回例会のお知らせ

日時：平成22年12月20日(月)　18時～21時
場所：メルパルク京都（京都駅前正面）

★第３回は年末の為、講義終了後にご希望の方のみで塾内の交流を図る忘年懇親会をさせていただきたいと思います。（会費は3000円となります。）※講義のみでもけっこうです。
★日本真生塾は塾生を引き続き募集しております。
★今年度は年会費無料、毎月１回の例会を開催

<お問い合わせ先>
事務局：右京区西院坤町２ハウスドゥ四条ビル6F
TEL：050-7544-4018　FAX：075-315-2310
PC：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp　（担当：近藤）

日本真生塾　塾長　岡本幸治

身辺雑記

一、総理を経験した人がいつまでも議員をしていることはよくないと、鳩山氏は次の総選挙には出馬しないと表明していた。どう心変わりしたのか、次期も立候補すると、従来の発言を翻した。この人の頭の構造はどうなっているのだろう。

一、普天間、尖閣でモタモタしている隙間に、ロシアのメドベージェフ大統領が国後島（くなしり）を訪問した。諸悪の根源は普天間をめぐる日米間の不協和音にあると専門家は指摘している。民主党はこの日本をどうしようとするのか。心配である。

一、心配しているのは国民だけではない。心ある公務員も民主党のあやふやな政策に危機感を覚えているのではないか。尖閣諸島でのビデオが海上保安庁職員によって漏らされた。迷走を続ける政権に反抗する人が出てくるのではないか。

一、アメリカの中間選挙で民主党が歴史的敗北をした。オバマ大統領の経済政策に対する国民の不満が、敗北の原因である。格好よくチェンジと国民に呼びかけたが、なかなか事はうまく運ばない。どこか民主党政権と似ている気がする。

一、裁判員制度が始まって2度死刑の求刑があった。裁判員は1度目が無期、2度目が死刑の判決を下した。私は悪質、残忍な殺人には極刑を課すべきだと思っている。裁判員には荷が重いか知れないが、遺族の心情も十分考慮してほしい。

一、長男と次男の孫が我が家に4泊した。朝から晩まで家の中を走り回っていた。夜もなかなか寝つかない。寝不足でも朝から、又走りまわる。子供とはこれほどまでに手が掛かるとは思わなかった。2人が帰ったらどっと疲れが出た。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

新春招福バスツアー
第24回 伊勢神宮初詣

◇旅行日　平成23年1月10日（月・祝）
◇昼食場所　鳥羽『戸田家』
◇会費　8,000円
◇申込締切日　平成22年12月15日(水)

◇申込先　後援会役員または二ノ湯さとし京都事務所まで　TEL(075)315-2228 FAX(075)315-2310

参議院議員　二ノ湯さとし後援会